

平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年8月7日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社ゲオディノス

コード番号 4650 URL <http://www.geodinos.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清水 松生

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 吉住 実

TEL 011-241-3951

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,235	△7.8	△40	—	△67	—	△68	—
21年3月期第1四半期	1,339	—	△69	—	△97	—	△85	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△15.89	—
21年3月期第1四半期	△19.92	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	8,690	2,261	26.0	527.85
21年3月期	8,936	2,312	25.9	539.98

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 2,261百万円 21年3月期 2,312百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 累計期間	2,600	△5.4	△30	—	△100	—	△105	—	△24.51
通期	5,400	△4.0	190	—	50	—	40	—	9.34

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ定性的情報・財務諸表等4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	4,303,500株	21年3月期	4,303,500株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	20,048株	21年3月期	20,048株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	4,283,452株	21年3月期第1四半期	4,283,452株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知お願います。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、引き続き、世界的な金融危機の影響や雇用情勢の悪化により、厳しい状況で推移しました。一方、在庫調整の一巡や経済対策の効果等により、景気は一部に持ち直しのきざしがみられましたが、個人消費の動きは弱く、生活必需品でない娯楽支出の抑制傾向が引き続きみられました。

このような状況下のなか、当社では、経営改革推進会議を発足し、役員体制のスリム化と若返り策、管理職年俸制導入によるモチベーションアップ、お客様と直接接する現場の意見吸い上げなどの活性化策や意識改革、施設管理会社の本化等店舗運営コスト管理の徹底を図ることなどに努力してまいりました。その結果、売上減少傾向もほぼ予想どおりの範囲ですみ、期初の計画どおり、前第1四半期会計期間より営業損失、経常損失及び四半期純損失が縮小いたしました。当第1四半期会計期間の売上高は12億35百万円（前年同四半期比7.8%減）、営業損失は40百万円（前年同四半期は営業損失69百万円）、経常損失は67百万円（前年同四半期は経常損失97百万円）、四半期純損失は68百万円（前年同四半期は四半期純損失85百万円）となりました。

当第1四半期会計期間における営業実績を事業の部門別に示すと次のとおりであります。

部門	当第1四半期会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	前年同四半期比 (%)
アミューズメント施設部門 (千円)	996,619	△12.6
（ゲーム部門） (千円)	(655,884)	(△13.5)
（ボウリング部門） (千円)	(254,685)	(△12.6)
（カラオケ部門） (千円)	(52,204)	(△3.9)
（その他部門） (千円)	(33,845)	(△5.9)
映画興行部門 (千円)	216,676	23.6
その他 (千円)	21,960	△6.3
合計 (千円)	1,235,257	△7.8

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 「アミューズメント施設部門」の「その他部門」は、ビリヤード場・バッティングセンター・マンガ喫茶・ダーツ等の売上であります。

3. 「その他」は、土地・建物の賃貸収入等の売上であります。

(アミューズメント施設部門)

アミューズメント施設部門につきましては、景品の選定等の工夫によりUFOキャッチャーなどのプライズゲームが下げ止まるなど回復のきざしがみられましたが、5月の新型インフルエンザ発生の影響によりボウリング団体予約にキャンセルがあったこと、ゲームメーカーの新機種発売の減少があったこと、スガイコトニの閉鎖（平成21年3月31日）などの影響により、9億96百万円（前年同四半期比12.6%減）となりました。

(映画興行部門)

映画興行部門につきましては、「レッドクリフPartⅡー未来への最終決戦ー」、「スラムドッグ\$ミリオネア」等のヒットなどにより2億16百万円（同23.6%増）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期会計期間末の総資産は86億90百万円となり、前事業年度末に比べ2億46百万円減少しました。これは主に、現金及び預金等流動資産の減少（前期末比1億39百万円減）及び差入保証金等固定資産の減少（同1億6百万円減）があったことによるものであります。

負債については、64億29百万円となり、前事業年度末に比べ1億94百万円減少しました。これは主に、店舗閉鎖損失引当金等流動負債の減少（同1億17百万円減）及び長期借入金等固定負債の減少（同76百万円減）があったことによるものであります。

純資産については、22億61百万円となり、前事業年度末に比べ51百万円減少しました。これは主に、評価・換算差額等の増加（同16百万円増）がありましたが、株主資本の減少（同68百万円減）があったことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ1億3百万円減少し、4億32百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は、20百万円となりました。これは主に、非資金費用である減価償却費が1億51百万円ありましたが、税引前四半期純損失の計上66百万円及び店舗閉鎖損失引当金52百万円減少並びにその他負債54百万円減少などによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、45百万円となりました。これは主に、差入保証金の回収による収入が95百万円ありましたが、有形固定資産の取得による支出が1億35百万円あったことなどによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は36百万円となりました。これは主に、長期借入による収入が4億円ありましたが、長期借入金の返済による支出が3億79百万円及び社債の償還による支出が32百万円並びに長期未払金の返済による支出が19百万円あったことなどによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期会計期間の業績につきましては、計画どおり推移しており、現段階では平成21年5月8日付決算短信に記載の業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	435,316	525,551
売掛金	56,197	82,279
有価証券	1,267	11,264
商品及び製品	12,190	11,451
原材料及び貯蔵品	31,646	23,337
その他	50,122	72,702
貸倒引当金	△85	△288
流動資産合計	586,655	726,299
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,024,020	3,062,439
アミューズメント機器（純額）	715,714	738,986
土地	2,739,860	2,739,860
その他（純額）	280,452	247,978
有形固定資産合計	6,760,048	6,789,264
無形固定資産	12,348	12,684
投資その他の資産		
差入保証金	929,080	1,014,545
その他	402,269	393,728
投資その他の資産合計	1,331,350	1,408,274
固定資産合計	8,103,747	8,210,223
資産合計	8,690,402	8,936,522
負債の部		
流動負債		
買掛金	104,587	102,679
1年内償還予定の社債	65,000	75,000
1年内返済予定の長期借入金	1,482,416	1,409,284
1年内返済予定の長期未払金	76,887	77,793
未払法人税等	3,895	9,949
賞与引当金	3,075	7,620
ポイント引当金	5,500	7,000
店舗閉鎖損失引当金	2,592	54,623
その他	301,188	418,591
流動負債合計	2,045,141	2,162,541

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
固定負債		
社債	40,000	62,500
長期借入金	3,577,938	3,630,136
長期末払金	110,939	129,723
退職給付引当金	147,898	145,412
その他	507,445	493,210
固定負債合計	4,384,221	4,460,982
負債合計	6,429,363	6,623,523
純資産の部		
株主資本		
資本金	948,775	948,775
資本剰余金	1,128,995	1,128,995
利益剰余金	190,572	258,627
自己株式	△10,844	△10,844
株主資本合計	2,257,499	2,325,554
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,540	△12,555
評価・換算差額等合計	3,540	△12,555
純資産合計	2,261,039	2,312,999
負債純資産合計	8,690,402	8,936,522

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	1,339,143	1,235,257
売上原価	1,230,711	1,111,565
売上総利益	108,432	123,691
販売費及び一般管理費		
給料	51,743	51,475
賞与引当金繰入額	1,766	806
退職給付費用	1,429	1,235
租税公課	28,406	28,878
その他	94,456	81,405
販売費及び一般管理費合計	177,802	163,801
営業損失(△)	△69,369	△40,110
営業外収益		
受取利息	1,767	1,159
受取配当金	805	616
アミューズメント機器売却益	6,106	—
協賛金収入	—	1,185
その他	3,182	405
営業外収益合計	11,862	3,366
営業外費用		
支払利息	35,875	29,819
アミューズメント機器処分損	1,058	465
その他	2,807	941
営業外費用合計	39,741	31,226
経常損失(△)	△97,248	△67,969
特別利益		
固定資産売却益	143	—
ポイント引当金戻入額	2,000	1,500
特別利益合計	2,143	1,500
特別損失		
固定資産除却損	80	141
投資有価証券売却損	—	98
投資有価証券評価損	18,595	—
特別損失合計	18,676	239
税引前四半期純損失(△)	△113,781	△66,709
法人税、住民税及び事業税	2,685	2,334
法人税等調整額	△31,122	△989
法人税等合計	△28,436	1,345
四半期純損失(△)	△85,344	△68,054

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△113,781	△66,709
減価償却費	178,738	151,500
貸倒引当金の増減額(△は減少)	263	△202
賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,495	△4,545
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△2,000	△1,500
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	△52,030
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,075	2,486
受取利息及び受取配当金	△2,573	△1,776
支払利息	35,901	29,819
有形固定資産除却損	558	606
有形固定資産売却損益(△は益)	△5,669	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	98
投資有価証券評価損益(△は益)	18,595	—
売上債権の増減額(△は増加)	32,427	26,082
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,021	△9,049
その他の資産の増減額(△は増加)	△4,700	5,451
仕入債務の増減額(△は減少)	△22,698	1,907
未払消費税等の増減額(△は減少)	△25,276	△9,732
その他の負債の増減額(△は減少)	△68,151	△54,916
小計	12,236	17,490
利息及び配当金の受取額	1,334	634
利息の支払額	△39,311	△34,456
法人税等の支払額	△2,673	△4,386
営業活動によるキャッシュ・フロー	△28,413	△20,717
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△3,000
貸付けによる支出	△2,100	—
長期貸付金の回収による収入	7,579	7,622
投資有価証券の取得による支出	△1,832	△890
投資有価証券の売却による収入	—	281
有形固定資産の取得による支出	△149,053	△135,862
有形固定資産の売却による収入	14,579	549
差入保証金の差入による支出	△13,711	△9,722
差入保証金の回収による収入	17,227	95,187
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127,312	△45,834
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	450,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△328,822	△379,066
社債の償還による支出	△32,500	△32,500
長期未払金の返済による支出	△10,701	△19,690
リース債務の返済による支出	—	△5,416
配当金の支払額	△12,238	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	65,738	△36,680
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△89,987	△103,232
現金及び現金同等物の期首残高	1,020,062	535,816
現金及び現金同等物の四半期末残高	930,075	432,583

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。